



第15回「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2023年3月12日

小樽観光大学校

* 合格発表は下記のホームページでご確認できます。

* URL:<http://www.otaru-kd.com/>

各設問で選択問題は1～4の番号で、また記述問題は該当する語句を記入
しなさい。(制限時間90分)

■選択問題

問1

小樽で外国人専用のホテルとして越中屋ホテル(現アンワインドホテル)が建てられましたが、建築年は次のどれでしょうか。

1. 明治45年 2. 大正12年 3. 昭和6年 4. 昭和25年

問2

歴史的建造物の再生利用で、のちに小樽観光施設の個性となり特徴となるきっかけとなった建物は次のどれでしょうか。

1. 北一硝子三号館 2. 旧日本郵船(株)小樽支店
3. 小樽運河プラザ 4. 小樽バイン

問3

高度経済成長期(昭和30～48年)によって女性観光の火付け役となった雑誌がありました。その雑誌に触発された女性観光客をなんと呼んだでしょうか。

1. カニ族 2. アンノン族 3. じゃらん族 4. ノマドワーカー族

問4

小樽運河保存運動が始まる大きな契機となったのは、有幌や運河周辺の倉庫が解体されたことでした。その年は次のどれでしょうか。

1. 昭和46～48年 2. 昭和52～54年 3. 昭和59～61年 4. 平成元～3年

問5

小樽の歴史的街並み保存運動に追い風を吹かせた、昭和40年代～50年代放映の小樽をロケ地とする映画やドラマの作者・監督でないのは次のどれでしょうか。

1. 倉本 聡 2. 山田洋次 3. 守分寿男 4. 黒澤 明

問6

小樽の観光拠点(北運河)は周遊できる徒歩観光圏を形成しつつありますが、これまであまり話題となっていない地区は次のどれでしょうか。

1. 北運河 2. 旧手宮線 3. 花園銀座街 4. 色内大通り

問7

小樽のまちづくり運動を推進する団体は、昭和50年設立の「小樽運河を守る会」以来、今日までどれくらいの団体があったでしょうか。

1. 50～60団体 2. 60～70団体 3. 70～80団体 4. 80～90団体

問8

小樽観光は「まちづくり観光」と言われますが、その理由として違うものは次のどれでしょうか。

1. 使いながら保存している 2. まちづくり運動が観光資源を発掘している
3. 原形保存を心掛けている 4. 再利用の品格も追求している

問9

今回(第25回)の「小樽雪あかりの路」の実行委員長は次の誰でしょうか。

1. 迫 俊哉 2. 中村全博 3. 西條文雪 4. 山口 保

問10

前回（第24回）「小樽雪あかりの路」から始まった市民・市内に雪あかりを広めるプロモーション企画はなんと呼ばれているか？

1. 「あかり人」企画
2. 「ともし人」企画
3. 「いやし人」企画
4. 「ロウソク人」企画

問11

今回（第25回）「小樽雪あかりの路」に参加しなかった外国人ボランティア団体は次のうちどれでしょうか。

1. 友好（ヨーハオ）
2. OKOVO（オコボ）
3. eVOL(エボル)
4. 橙（ダイダイ）

問12

冬の小樽観光を盛り上げようと1999年に始まった「雪あかりの路」ですが、企画段階で「ロウソク」での装飾を主張し、圧倒的多数だった電飾派を押し切って実現させたのは次の誰でしょうか。

1. 山城栄太郎
2. 簗谷和臣
3. 山口 保
4. 佐藤公亮

問13

「静けさを慈しむイベント」と言われる「小樽雪あかりの路」の中で、現在唯一演奏を許されている小樽観光PR大使も努めるピアニストは次の誰でしょうか。

1. 野瀬栄進
2. 平間さと子
3. 高橋麻衣子
4. 柿本七恵

問14

今回（第25回）「小樽雪あかりの路」の新たな公式会場となったのは次のどれでしょうか。

1. 天狗山会場
2. 北運河会場
3. 手宮線会場
4. 小樽芸術村会場

問15

「小樽雪あかりの路」というイベント名は、小樽ゆかりの作家の詩集の名前が由来となっています。その作家とは次のどれでしょうか。

1. 小林多喜二
2. 北原白秋
3. 萩原朔太郎
4. 伊藤 整

問16

今回「第25回小樽雪あかりの路」の実行委員会公式発表による入り込み客数は次のどれでしょうか。

1. 18万人
2. 25万2千人
3. 30万5千人
4. 57万5千人

問17

令和4年11月、小樽市の歴史的建造物第75号に指定されている建物を国の登録有形文化財に登録するよう、文部科学大臣へ答申がありました。登録が正式決定となると、小樽市の国の登録有形文化財は「JR小樽駅」「旧青山家別邸」とあわせて、3件になる見込みです。この今回答申した建物の名称は次のどれでしょうか。（名称は現在名）

1. 銀鱗荘
2. 龍徳寺本堂
3. 小樽市庁舎
4. 小樽市公会堂

問18

令和3年度、小樽市が地域型日本遺産として申請した「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都」」が候補地域として認定され、現在、本認定を目指し活動しています。この年、全国から20件申請があり3件が候補地域となりました。この3件の地域は小樽市、「富津市・鋸南町」ともう一つは次のどこでしょうか。

1. 亀山市
2. 岡崎市
3. 奈良市
4. 京都市

問19

次の色内銀行街にある建物で、建築年がすべて正しい組み合わせはどれでしょうか。

1. 旧三菱銀行小樽支店（大正11年）・旧第一銀行小樽支店（大正13年）・
旧北海道拓殖銀行小樽支店（大正12年）
2. 旧三井銀行小樽支店（昭和元年）・旧北海道拓殖銀行小樽支店（大正12年）・
旧第一銀行小樽支店（大正11年）
3. 旧北海道銀行本店（明治35年）・旧三井銀行小樽支店（昭和2年）・
旧北海道拓殖銀行小樽支店（大正12年）
4. 日本銀行旧小樽支店（明治45年）・旧三菱銀行小樽支店（大正12年）・
旧第一銀行小樽支店（大正13年）

問20

北運河の運河公園内でガイドしています。話している内容が間違っているのは次のどれでしょうか。

1. 正面に見える旧日本郵船(株)小樽支店は工部大学校造家学科1期生4人の中のひとり、佐立七次郎による設計で明治39年に完成しました。残念ながら現在は修理工事中で見学することはできません。保存修理工事は令和6年6月までの予定で進められています。ぜひ、また見に来てください。
2. 市指定史跡北海道鉄道開通起点は小樽市総合博物館構内にあり、開通当初から線路は、その起点から皆さんが見ている旧日本郵船(株)小樽支店の裏側を通り、現在の南小樽駅方面へ延びていきました。
3. 公園内の地面をご覧ください。敷石が違うところがありますが、これは何を意味するのかわかりますか。実はこの敷石で囲まれた部分は日本郵船専用の船入り潤だったことを表しているのです。
4. この公園の手宮側には北前船日本遺産の構成文化財に認定されている北前船主の倉庫3棟が連なっています。その中でも一番大きな倉庫は右近倉庫で、妻面には一膳箸と読む印がついています。

■記述式問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい。（箇条書きは不可）

記述問題 I

小樽市の人口は昭和39（1964）年がピークで20万7千人でしたが、以後、毎年人口減少が止まらず、現在では11万人を切っています。一方で観光客として訪れた方が小樽ファンになり、多くの方が何度も訪れるようになっていきます。人口減を食い止める対策として移住促進は、重要な施策であり、小樽らしい方法といえます。あなたなら、これらの小樽ファンに移住してもらうためにはどのような対策をしますか。提案しなさい。

<まちづくり観光論より>

記述問題 II

「小樽雪あかりの路」と「札幌雪まつり」の違いを簡潔に述べなさい。

<観光資源論より>

■総合記述問題

次の設問に800字以内の文章で述べなさい。（箇条書きは不可）

全国各地で、その地域ならではの観光資源を活用した観光商品や体験プログラムを地域側が企画するいわゆる「着地型観光（地域主導型旅行商品）」の動きが広がっています。「着地型観光」は、都市部の旅行会社が企画・運営する「発地型観光」に比べ、地域経済への波及効果が期待され、旅行会社や宿泊施設といった観光事業者のみならず、地域の企業や小売店、飲食店など広く波及する取り組みといえます。

あなたが小樽での着地型観光商品を企画するとしたら、どのような旅行商品を提案しますか。次の条件を満たす内容で書きなさい。

1. 商品企画の背景（例えば、地域のなりたちや企業（産業）の歴史、自然環境など）
2. 商品の特徴・・・目的、内容、効果、価格等
3. その商品を利用する対象はどんな人たちか
4. 商品企画のタイトル名・・・商品の内容を伝えられ、お客様の興味を引くタイトルか

